

経済指標ウォッチャー

機械受注統計 3ヵ月ぶりに増加

行動制限の緩和を見込み、設備投資が徐々に加速する可能性も

機械受注統計とは？

内閣府が、毎月10日頃に公表する統計。各企業が製造企業に対し設備用機械を発注した時点で設備投資にカウントされるため、機械等製造業者の1ヵ月間の受注状況を調査することで、企業の設備投資動向の早期把握が可能となる。船舶・電力の受注は、景気との相関性が低く、月ごとの振れが大きいいため、一般的に『船舶・電力を除く民需』ベースの数字が重要視されている。

3月は製造業・非製造業ともに受注額が増加

内閣府が20日に公表した、2021年3月の機械受注統計によると、機械受注総額（船舶・電力を除く民需、季節調整済み）は、前月比3.7%増の7,981億円となりました（図表1）。およそ2ヵ月半にわたり、東京都や大阪府などを対象に発令された緊急事態宣言が3月中旬に解除され、経済活動が段階的に再開されたことから、運輸業・郵便業や情報サービス業などの非製造業を中心に受注額が前月比で大きく増加しました。

業種別の受注額は、製造業が、同0.1%減の3,422億円、非製造業が、同9.5%増の4,630億円となりました。製造業では17業種のうち10業種、非製造業では12業種のうち8業種が増加しました。

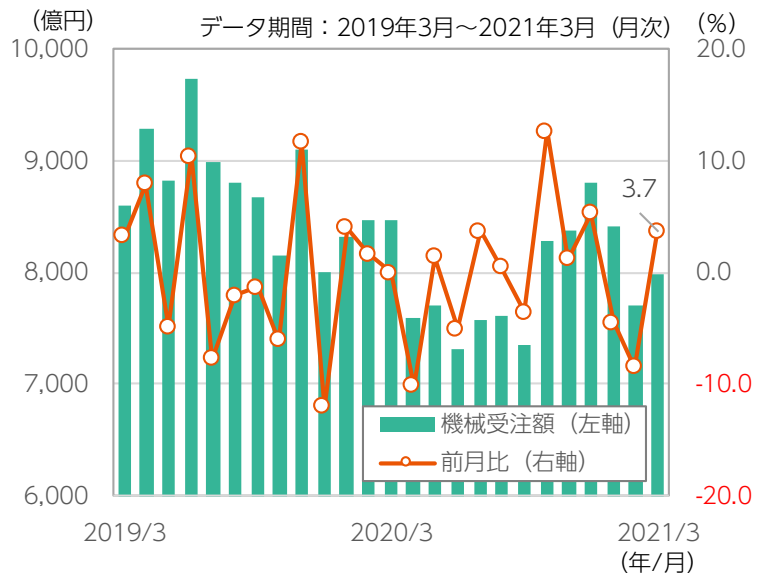
今後、企業が設備投資を徐々に加速する可能性も

3月の機械受注総額は3ヵ月ぶりに増加したものの、内閣府は基調判断を『持ち直しの動きに足踏みが見られる』に据え置きました。新型コロナウイルスの感染再拡大により、経済活動の正常化には時間を要するとの見方から、慎重な判断がされたものとみられます。

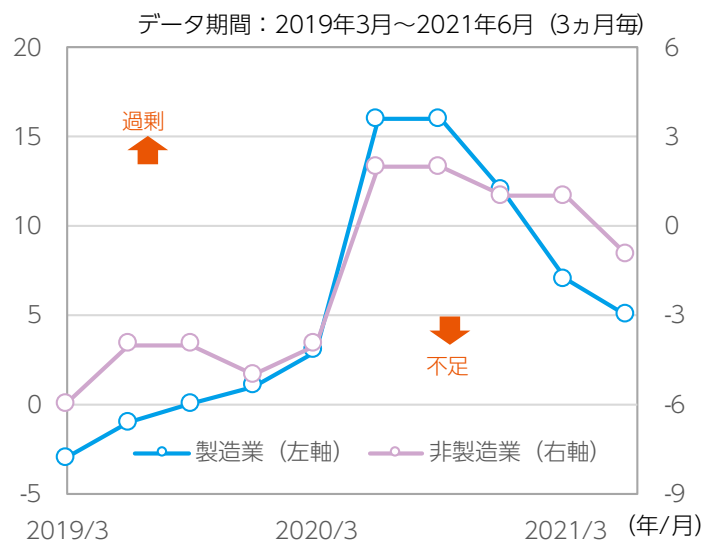
感染再拡大による先行き不透明感から、長期にわたり企業が不要不急の設備投資を控えていたことなどを背景に、2020年後半より企業設備に不足感が見られ始めています（図表2）。

国内でもワクチン接種が開始され、経済活動の正常化が期待されます。経済活動の正常化を見越し、今後は、企業が設備投資を徐々に加速していくことが予想され、機械受注は緩やかながらも増加していくとみられます。

図表1：機械受注総額は3ヵ月ぶりに増加となる



図表2：企業設備に不足感が見られ始めている



出所) 図表1は内閣府、図表2は日銀のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>